



いくさか議会だより No.172

令和7年12月定例会号 2026.1.22 発行



新年のあいさつ・抱負	P2
こう決まる！新年度予算	P3
こうなっていた！常任委員会	P4
ハンガリー村特集	P5
こんなことが決まりました	P7

総務建経常任委員会報告	P8
社会文教常任委員会報告	P9
村政そこが知りたい！！	P10-13
陳情・請願について	P15
視察特集	P16

謹賀新年



新年の抱負

新年あけましておめでとうございます。皆さんにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より議会運営や議会活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年四月の村議会議員選挙を経て、新しい体制がスタートし、若い世代の議員も加わり、多様な世代や経験を持つ議員が集い、それぞれの視点から地域の課題に向き合い、活発な議論を重ねています。

一方で、地域活動の担い手や議員のなり手不足など、地域を支える人材の確保は喫緊の課題です。人口減少や高齢化が進む中で、地域の力はどう守り、次の世代へつないでいくかが問われています。こうした現実に向き合しながら、議会としての目的や目標を明確にし、村民の皆さんにわかりやすく伝えていくことを大切にしています。議員個人の活動は見えにくい部分もありますが、議会全体として何を目指し、どのように取り組むのかを共有することで、信頼と共感を育んでいきたいと考えています。

副議長 山本 吉人

今年度は「議会改革検討会」を立ち上げ、議会の役割や運営を見直します。また、「出前授業」や「子ども議会」を通じて、若い世代が生坂村や議会に関心を持ち、未来を考えるきっかけづくりにも取り組んでまいります。

本年も、皆さんの声を力に変え、安心して暮らせる生坂村の実現に向けて努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

令和八年 元旦

生坂村議会議長 藤澤 幸恵

進藤彩議員

本年も中庸を貫く立場から是々非々の姿勢で村民の声に真摯に向き合い暮らしを守るために議論と決断を重ねてまいります。将来世代に責任ある村づくりへ全力で臨みます。皆で前進します。挑戦を続けます。お願いします。

望月一将議員

本年も中庸を貫く立場から是々非々の姿勢で村民の声に真摯に向き合い暮らしを守るために議論と決断を重ねてまいります。将来世代に責任ある村づくりへ全力で臨みます。

平田勝章議員

令和8年の夏はさらに熱い夏を迎える。福祉の村づくりを目指している当村の課題解決に向けて、まずは高齢者の皆さんのがん、クラーの設置などが出来るような施策に議会として応援が出来ればと思っています。

太田讓議員

議員活動10年目となる2026。これまで支えてくださった皆様に感謝し、現場の声を大切に、連携と実行で持続可能な地域づくりに全力で取り組みます。次世代へつなぎます。皆で前進します。挑戦を続けます。全力で!

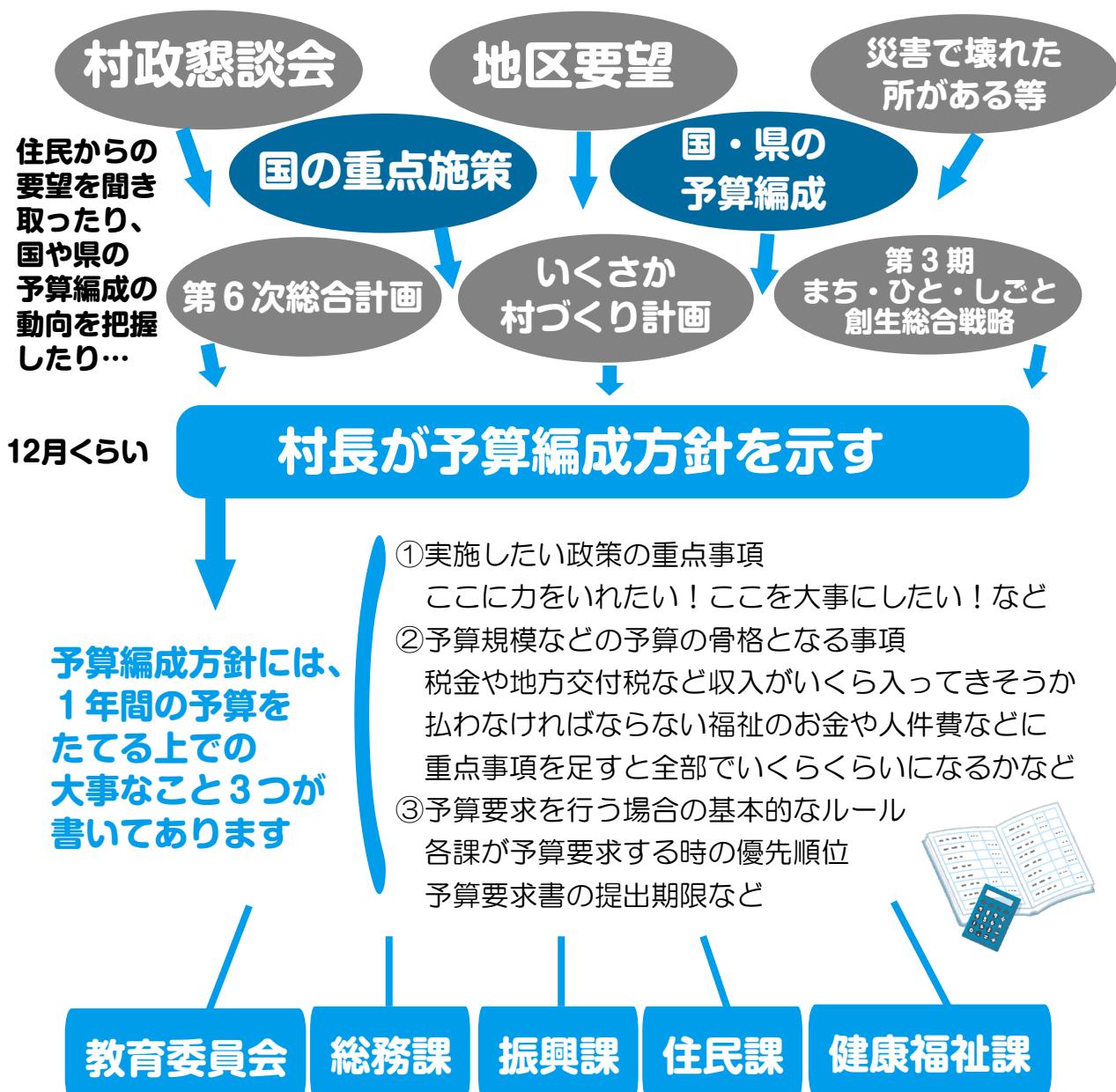
島幸恵議員

チェック機関としての役割を果たすため、今年も更に学んでいきたいです。議会会議規則は上位法と整合性がとれていらない箇所があり、同僚議員と見直していく必要がありまます。出張山彦も行っていきたいです。

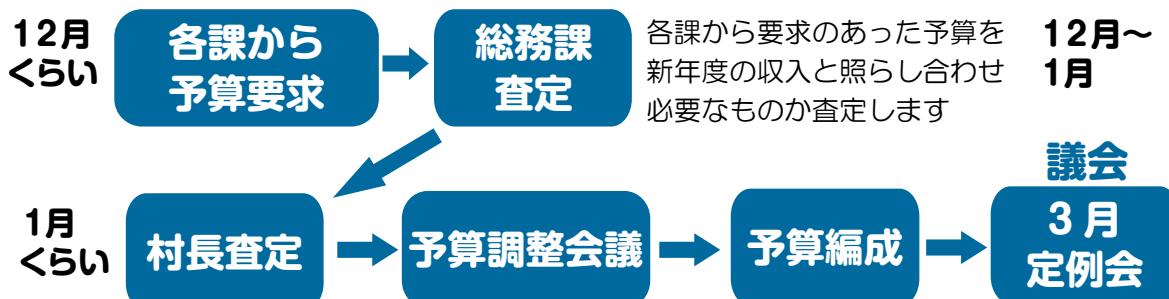
市川壽明議員

いま世界は紛争が絶えない現実に直面した時代となっている。改めて、日本を含む戦争の歴史を振り返り、平和についての課題を共に考え合い・学習となる場を創りたい。

こう決まる！新年度予算



予算編成方針を受け、各課で基本方針を決定する
予算編成方針に従って、各課で予算の見積もりをし、予算要求として提出



3月定例会で新年度の予算を審議し、可決すれば予算は成立します

こうなっていた！常任委員会

定例会初日 議案の提出

行政側より、こんなきまりをつくりたい、ここにお金を使いたいなどの案が議会に出されます



総務課・振興課関係

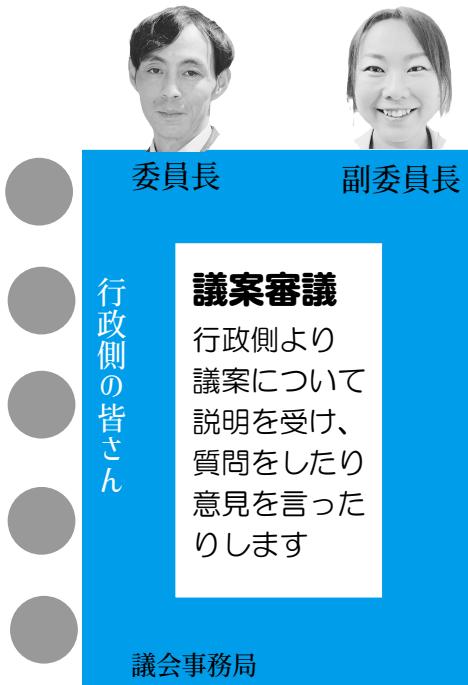


教育委員会・住民課・健康福祉課関係の議案



それぞれの委員会に
議案審査を付託

総務建経常任委員会



社会文教常任委員会



行政側から議案の説明 → 質疑 → 討論(反対・賛成の意見を言う)→ 採決(3人の多数決)

最終日 委員長報告

委員長が、委員会でこんな意見が出たとか、委員会で議案が認められたかどうかなどを議場で発表します

委員だけではなく、議長を除いた全員で

委員長報告に対する質疑 → 討論 (反対・賛成の意見を言う)→ 採決をして決定します

例えば…委員会で不可(反対)と決定の場合、自分が議案に賛成だったら最終日に委員会の決定に反対します。

☆ハンガリー村になった経緯☆

国際経済交流協会の米田健三会長より、特ある道の駅づくりの一環として「ハンガリー村」という位置づけの提案を受けたことをきっかけに、ハンガリー大使館との交流が始まりました。生坂村では、「生坂ならでは」の付加価値を加えることで来村の動機を高め、農業振興と村のPRにつなげることを目的としています。

☆ハンガリー村として…☆

現在道の駅いくさかの郷では、ハンガリーの文化に触れることのできるパネル展示や動画とともに、伝統工芸である刺繡作品などが展示されています。

やまなみ荘では12/1～12/28までハンガリーフェアとして「ハンガリープレート」や、会席プランでは「お箸でもいただけるハンガリー折衷料理」が提供されました。



ハンガリー村 特 集



☆イベントの開催☆

11月8日には、山村活性化支援交付金を活用した「ハンガリー グルメ&カルチャーパーティー」がやまなみ荘大ホールにて開催されました。今回の交付金の事業実施計画の中の「新商品の開発と郷土料理等改良によるアイデンティティの向上」のひとつ、「ハンガリー料理への取り組み」が実施されたものです。特命全権大使のオルネル＝バーリン・アンナさんによる日本語でのスピーチでは、ハンガリーの文化や生坂村との交流について、スライドを用いながら分かりやすく紹介されました。

続いて、ハンガリー大使館のラーツ・ゲルグー料理長と、やまなみ荘の牛越実料理長による「ハンガリー×生坂村 スペシャルディナー」が提供されました。

さらに、日本ハンガリー商工会議所副会頭の根岸健一さんのナビゲートによるコンサートプログラムでは、ピアノ奏者・永野光太郎さんの演奏にのせて、ソプラノ歌手・山崎陶子さんの歌声、バレエダンサー・浅井友香さんの優雅な舞が披露され、来場者を魅了するひとときとなりました。

議案等の審査結果

賛成…○ 反対…× 欠…欠席 除…除斥 議長…※

		令和7年12月定例会 審議した議案との結果	審議結果	進藤 彩	進藤 彩	望月 一将	島 幸恵	山本 吉人	太田 謙	平田 勝章	市川 寿明	藤澤 幸恵
事件案	村の義務に属する和解及び損害賠償の額の決定について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	※
	地域おこし協力隊員が起こした車両事故の損害賠償額について											
	生坂村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	子ども誰でも通園制度実施に向け、子どもが安心安全に過ごせるよう基準を定めるもの											
	生坂村社会福祉施設の設置及び管理に関する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	「はるかぜ」を認知症型デイサービスセンターから社会福祉施設へ名称と実施事業を変更											
	生坂村議會議員及び生坂村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	選挙運動で公費負担される選挙運動用自動車、ビラ、ポスターの単価が上がる											
条例案	生坂村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	国の改正に合わせ、住登外者宛名番号管理機能を村長部局、教育委員会で取扱うための改正											
	職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	職員の仕事と育児等両立のため、村が職員に制度を周知したり意向を聞きますという改正											
	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	育児や介護時間の多様化により、職員の「部分休業」を1時間単位で認めますという改正											
	生坂村火入れに関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	気象庁が注意報の名称を改めたことに合わせた改正											
	令和7年度生坂村一般会計補正予算【第4号】	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	主なものP7~9へ											
予算案	令和7年度生坂村介護保険特別会計補正予算【第2号】	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	介護保険システム改修、利用者増による負担金増、令和6年度事業清算による交付金還付等											
	令和7年度生坂村簡易水道事業会計補正予算【第2号】	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	漏水箇所修理の材料費16万5000円、下生野の水位計更新費172万1000円等											
	令和7年度生坂村下水道事業会計補正予算【第1号】	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	浄化槽修繕費110万円等の補正											
陳情	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長野県医療労働組合連合会会長 小林吟子・長野県社会保障推進協議会代表委員 宮沢裕夫											
追加議案	令和7年度生坂村一般会計補正予算【第5号】	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	物価高騰対応:非課税世帯にエアコン設置補助、子ども1人2万円補助、全員に商品券配付											
発議	診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める意見書	提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	すべての医療機関と介護・福祉事業所の報酬を10%以上引き上げてほしいという意見書											

12月定例会でこんなことが決まりました

村の義務に属する和解及び損害賠償の額の決定 105万6,767円(全額保険適用)



【概要】

地方自治法第96条第1項に基づき、村が当事者となる損害賠償の和解及び賠償額を定めるもの。令和7年7月、大町市で地域おこし協力隊員が公務中に起こした事故により、105万6,767円を賠償する。

反対討論：議員から求められた再発防止策の徹底、地域おこし協力隊・集落支援員の活動車両利用における「公用」と「私用」の区分の曖昧さを解消し透明性を確保すること、これらが改善されるのか答弁からは不明。9月委員会時に見直すとの答弁があったが策はとられず、このままでは認められないと考え反対。

賛成討論：本議案は、「損害賠償の和解及び賠償額の決定について」である。公務中の事故であることが確認されたので賛成。

補正予算

510万円

緊急自然災害防止対策事業



緊急自然災害防止対策事業債を財源として行われる工事で、今回新たに3カ所(※P8参照)が追加される。

補正予算 忠魂碑 修繕料7万円

忠魂碑にあるプレートで、誤りのあった名前を修正する修繕料。

補正予算 修繕料 100万円

健康管理センター床暖房修繕費
不凍液の交換を予定。

補正予算 委託料 346万5000円(278万2000円は県のDX支援事業補助金)

長野県宿泊税導入に伴うシステム改修 6000円以上の宿泊費に200円の宿泊税がかかる制度で、やまなみ荘は該当するため改修をする。



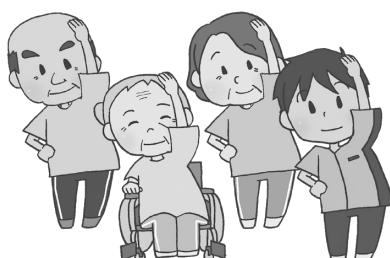
やまなみ荘食堂にPOSレジ導入

食堂にはハンディーターミナルも導入される予定。

補正予算 介護保険システム改修の委託料

(国のシステム改修補助金 55万円・事務費繰入金 55万2000円)
介護予防・生活支援サービス費 200万円

システム改修は法改正によるもの。
支援の軽い方のサービス費が伸びているため、
介護予防・生活支援サービス費が増額された。



総務建経常任委員会

令和7年度生坂村一般会計補正予算【第4号】

公用車事故における和解及び損害賠償の額の決定について

問 公務中に発生した事故か。

答 公務中に発生したもの。(研修を兼ねての見学会に参加)

問 再発防止のための注意喚起や対応は行ってるか。

答 意見を踏まえて対応していく。

問 員の公私と車両使用と事故時の保険適用は明確か。

答 私用の際は届け出を行い、燃料代の負担もある。保険上の区分は難しい面があり、現在検討中である。

問 業務外使用規定の見直し。

答 従来の公用車使用規定のまま。今後調査し、然るべき対応をす。

議案に関する主な意見

- 公用車使用の公私の線引きが曖昧
- 保険適用の境界が不明確
- 隊員自身も公私の区別が分からず混乱している
- 公私使用の区別は、外部から確認できる方法を検討すべき
- 走行記録にマイナス表記があるなど不可解な点があり、記録の正確性について疑問



・都会から移住していく隊員は車を所有していない場合も多いため、私生活も含めて柔軟に車を利用できる仕組みを検討すべき

・厳格すぎる規則は、定住や起業の意欲を削ぐ可能性がある

・報酬額を上げるなどして自家用車を用意できるよう促し、公私との区別を明確にすべき

職員の勤務時間及び休暇等に関する条例一部改正案

問 休暇取得時の勤務時間緩和など、具体的な措置の明記はあるか。

答 具体的な明記はないが、働きやすい環境を整えるための規定。

職員の育児休業等に関する条例一部改正案

- 問 記載されている「非常勤職員」は、パートタイム、フルタイム、大好き隊に適用されるか。

答 適用される。

- 問 公共施設の修繕箇所は、役場庁舎の水回りや公用車の修繕などによるもの。



総務課関係

問 ふるさと納税の今年度の状況は。現段階で寄付額は1,826万円(1,108件)。年末に向けて増える見込み。

答 全て地区要望箇所。

①宇留賀区南会

②大口向区北平

③下生野区中街道

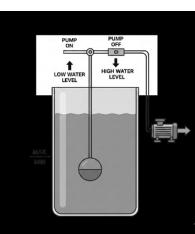


令和7年度生坂村簡易水道事業会計補正予算(第2号)

問 下生野区第2排水池の水位計の工事は、定期的なものか。

答 夏に発生した雷によるトラブルで、水位が正確に表示されていない状況。予備回線としてフロート制御を行っている。施設機能維持のための更新を行う。

問 じくさかの郷使用料の増加率は。黒字分は粗利益率15.8%の中で賃金や経常的経費を賄い、残りを農業総務費に充当。今年度も順調に推移。物販も順調で農業振興の一翼を担っている。



緊急自然災害防止対策事業の3ヶ所の工事箇所は。

問 緊急自然災害防止対策事業の3ヶ所の工事箇所は。

- ①宇留賀区南会
②大口向区北平
③下生野区中街道

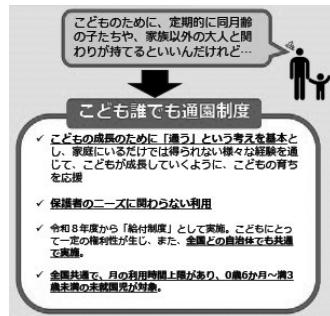
社会文教常任委員会

生坂村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例案

令和8年度開始の「こどもだれでも通園制度」に関するもの

問 平成21年から事業化されている一時預かり制度との違いは。

答 一時預かり制度は保護者・家庭の何りかの理由によりて、生後10か月以上の通園していらないお子さんを預かるというもの。「こどもだれでも通園制度」は、保護者・家庭の理由にわざわざか月以上3歳未満のお子さんが誰でも利用できる。



出典:こども家庭庁こども誰でも通園制度導入の手引き

施設・職員の余裕を活用して児童を預かる予定。
この制度に該当する子どもの数と、今後の対応は。

答 今のところ該当するのは3人か55人。開始一か月前から周知する予定。一時預かりではアレルギー対応食を提供しているが、今制度では未満児について、給食とアレルギー対応食の提供をしなし予定。

答 指定管理者が村長の承認を受け、利用時間、利用料及び利用の範囲を定める。

令和7年度生坂村一般会計補正予算 [第4号]

健康福祉課関係

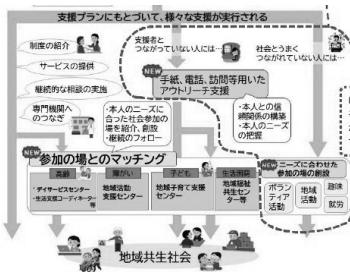
問 忠魂碑のお名前に誤りがあったと遺族から指摘され、修繕費が計上された。銅板プレートの修繕箇所以外のお名前も読みにくいか。

答 全ての方のお名前に彫りなおすと、歴史的価値が失われるのではないかと懸念する。誤りのあるお名前だけの修繕は、遺族の方と相談した結果。

問 忠魂碑は遺族会で設置したものではないか。

一般型乳児等通園支援事業所と、余裕活用型の違いは。

答 余裕活用型は保育所として認定された施設で一般型はそれ以外の施設。生坂村は余裕活用型で、保育所の



答 設置時は寄贈をされたものであるが、管理は遺族会と協力しながら村も行っているため、村で修繕する。健康管理センターの床暖房修繕は不凍液の入れ替えだけで大丈夫なのか。管に穴などないか。

問 健康管理センターの床暖房修繕は不凍液の入れ替えだけで大丈夫なのが、不凍液を全部入れ替えることを想定して予算計上している。

答 平成11年に建設されてから、不凍液の補充をしてはいるが、26年間入れ替えをしていない。施工業者に見てもりつてから修繕内容が確定するが、不凍液を全部入れ替えることを想定して予算計上している。

問 障がい者自立支援サービス費が伸びていて、現在の利用者数は。

答 利用者は26名で、うち放課後デイ利用者は5名。

陳情

問 診療報酬・介護報酬及び障害福祉サービス等報酬10%以上の引き上げを求める陳情

長野県では大きな病院でも赤字になっているところが多く、救急の受け入れ制限や、分娩の休止をする病院も増えている。地域医療、介護、障害福祉サービスを守ることとは、住民のいのちと暮らしを守ることであり、そのために国による施策が必要であると、陳情の趣旨に賛同し、全員賛成で意見書を提出すべきと決定。

一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたって所見を求め、疑義を質すこと、あるいは政策を提言することです。QRコードから動画視聴もできます！

答弁者 村…村長 副…副村長 総…総務課長 振…振興課長 住…住民課長
健…健康福祉課長 教…教育長 次…教育次長

●太田譲議員

- ①広域連携について

●山本吉人議員

- ①チャレンジできる村、チャレンジする村
「生坂村」について。その2
②狩猟ハンターのこれからについて

●市川寿明議員

- ①補聴器購入に助成を
②社会教育活動施設の現況について

●島 幸恵

- ①森林整備と緩衝帯について
②雲根地区創造の森事業について
③各種交付金事業について

●望月一将

- ①村営バス事業の財政負担と県地域公共交通計画への対応について
②脱炭素先行地域事業の方向性と事業規模の適正性について

●平田勝章

- ①道の駅前荒廃地の今後の活用について
②やまなみ荘の太陽光発電装置の故障と今後の対応は

問 北部3村の連携による特産品や地域資源の情報発信について考えは。

答 各村にそれぞれ特色ある農産物や観光資源があり、相互に補完し合い魅力を高められる可能性が大きい。特に、収穫期PRは、葡萄・白菜・林檎など、季節が異なり、広域で情報発信を行うことで「北部3村を巡る楽しみ」を訴求できる。一方で、情報発信の方法や時期、費用負担などを調整すべき点もある。まずは担当部署間で協議を進め、共同発信やイベント連携が適当と考える。

村 捕獲個体のジビエ利用を広域連携でおこなうことで、捕獲のインセンティブ向上や地域経済への波及効果も期待される。衛生管理や処理体制、採算性など課題もあるが村の考えは。

問 生坂村社協と池田町社協の連携の調査研究を考えられないか。

答 近年の地域福祉を取り巻く課題、特に職員数の制約や専門性の確保といった観点から、検討する価値は大きい。村社協では既に大町市協と連携し、八坂地区の相談を受付け大町社協へつなぐ取組みを始めていて、相談体制の利便性向上に一定の手応えを感じている。また松本ブロック社協（3市5村）では研修などを通じて実務的なノウハウを共有する流れもある。池田町社協とは生活圏が近く福祉一テーマの共通性を考えると調査研究を行う意義は大きい。まずは、両社協の事業内容や施設機能、人的体制、利用状況の共有を行い、どの分野に連携の可能性があるか調査研究を進めたい。



太田譲議員

振興課長

報償費・設備・安全体制の

獣友会の待遇向上の考えは
支援の充実を図るよう検討



問 捕獲個体のジビエ利用については、指摘通りと考える。一方で、ジビエの利活用には衛生管理基準の遵守、解体処理施設の整備、専任人材の確保、採算性の確保など一定のハードルがある。今後は広域的な解

体処理体制の構築に向けて、3村で協議ができるよう検討するとともに、捕獲活動が持続可能となるよう獣友会の皆様と意見交換を重ね、可能な支援を検討していく。



山本吉人議員

**緊急銃猟時のハンターへの対応は
振興課長 狩猟ハンターの安全確保等、
適切な対応をしていきたいと考えている**



問 今年は全国的に熊の被害が急増し災害規模になつていて。熊の増加により食べ物を求めて人里に降りてき人に危害を与えていた。生坂村もこれから熊の被害が発生する可能性がある。そんな状況の中、頼りになるのは猟友会の方々である。しかし猟友会の会員も決して多くはない、高齢化が進んでいた。ガバメントハンターの導入について考えているか。

振 ガバメントハンターの導入については、県・各自治体の導入状況を見ながら検討していく。

問 鹿などの捕獲報奨金の増額はできないか。

村 有害鳥獣駆除委員会を通して報奨金の増額については検討していく。

問 緊急銃猟時のハンターへの対応は。

振 ハンターの身体的、精神的にも大きな負担がかかるため出動手当の見直し、安全装備の購入に対しても補助金を考えている。

問 ハンター育成についてはどうしていくのか。

振 広報、ポスター等でハンター募集をしていきたい。

問 捕獲した鹿などの処理が適切でないと熊の餌になる可能性がある。処理場の建設はできなか。

村 処理場については必要性を十分感じていて。前向きに検討していく。

問 生坂村がこれからも元気でいるよう企画を公募し、上位には懸賞金を設け、1位の企画については予算を取り実行することはできないか。例えば「生坂村の私の絶景写真コンテスト」を企画する。「生坂村の情報部員」として各地でいいアイデアを探すなど。

総 予算化どころに対しても現状難しいと考えていて。コンテスト等することでの効果はあると思うので、意見を聞きながら考えていく。

補聴器購入に助成を



市川寿明議員

**補聴器の購入助成に積極的取り組みを
村長 補聴器の普及は今後も検討して
いきたい**



社会教育活動施設の現況について



山本吉人議員

**補聴器の購入助成に積極的取り組みを
村長 補聴器の普及は今後も検討して
いきたい**

問 演芸鑑賞・映画会等の文化活動

展開の会場には、村民会館は講堂が2階でエレベーターがない。50人前後の聴衆参加規模に対応する使用会場に相応しい施設の存在有無をどう感じておられるか。

村 じ指摘のような施設は村内にはなく、利用する方が必要な設備を用意して利用している。

問 一番条件が備わっているのは中学校の多目的室とされる。学校の開放の対象に加えて学校職員の理解と協力がいただけよう尽力願い、文化活動の推進のために村民が気軽に利活用ができるやすい状況整備を願うが。

村 地域の文化活動の場として今後要望があれば、安全な利用が可能か検討し判断する。今後具体的な案件等に対し、応えられるよう学校側と調整させていただきたい。



島幸恵議員

ゾーニング管理計画導入の考え方
**専門的な意見の収集を進め、
 検討していく**



望月一将議員

**脱炭素事業の規模縮小・重点化・
 再検証の可能性は
 村長 状況に応じて検討する**



問 山と人里の間、緩衝帯がなくなつたことが熊出没の一因とされる。箕輪町では緩衝帯を整備し、熊の目撃件数が半減。敷払い等は住民が主体で、町は住民に一時間1500円助成している。生坂村でもできないか。

村 交付税措置の活用が適切か調査・検討する。

問 松枯れ対策のネオニコ空中散布、伐倒くん蒸処理費を松枯れ材の搬出、チップ化に転用できないか。

振 空中散布とくん蒸処理は継続する。枯損木利活用事業で搬出、チップ化も検討する。

問 雲根創造の森にある既存設備の使用状況は。660万円かけたバイオトイレが、昨年のイベント時も使えなかつたと聞いている。

総 アースオーブン等活用しており、設備の使用については更に広報する。バイオトイレは電気系統の不具合で調整中。故障時期は不明。速やかに使用できるようにする。

問 観光庁第2のふるさとづくりの委託先と決定までの経緯がわかる文書を請求したが、文書不存在通知が

届いた。村として説明責任はないか。

総 公開請求先が村であつたため、観光協会は対象にならない。

問 昨年度の入札経緯で、入札なのか疑問に思えるものがあつた。透明性をもつた事業を。

問 事業の実効性や成果についてある程度評価が必要。昨年度株式会社大光が調査分析業務を受けている。分析した資料は。また、公表されるか。

総 確認し、公表できればする。

問 山村活性化対策事業補助金でハンガリー料理の開発をする。村の活性化に繋がると考えた理由は。

村 村農産物を活用したハンガリー料理開発が農業振興に繋がり、村外への発信力を高め、来村動機の創出に繋がると考える。

問 新商品開発等する村団体から、決定後でなく事前に相談してほしかつた等の声も聞かれるが。

村 事業実施計画段階で国と何度も調整し、実施には議会の議決が必要。事前に話すと議会軽視につながる。各団体の実情や意向を踏まえつつ、緊密な連携を図りながら取り組む。

問 世界における脱炭素政策の再検証・縮小の動きについての見解は。

村 一部でやつした動きはあるが、後退ではなく、実効性のある政策への調整と捉えている。

問 日本企業で見られる脱炭素事業からの撤退・縮小についての見解は。

村 国内外で事業見直しが進む中、財政負担を抑え重点化して進める。

問 松本乗鞍地域の事業辞退についての評価は。

村 地方自治体はそれぞれの実情に応じて最適な判断を行うものなので評価はできない。

問 当村の脱炭素事業費は適正と考えるか。

村 事業費は毎年、環境省の確認を受けている。認を受けている。

問 住民の移動確保、高齢者・学生の広域移動へ改善案は。

村 これまでデマンドバス連携やダイヤ調整など利用者目線の改善を重ねてきた。今後も二ーズ調査や民間連携を通じ、費用を抑えつつ利便性を維持し、「次世代につながる公共交通」を目指していく。





平田勝章議員

道の駅前荒廃地の利活用について

村長 全体的な土地利用計画や取得可能な土地から進めたい



問 道の駅向かい側の土地は芳が生い茂り景観が悪い。ぶどうの時期には駐車場が不足している。今後駐車場などに利活用出来ないか。

振 道の駅利用者からも改善要望が寄せられ、将来的な利活用に向けて前向きに検討している。

問 草刈りも大変なので早く譲渡したい人もいる。これらの方から購入して実績を作る考え方。

村 先行取得して順次整備する方法は現実的だが、飛び地となり面的な整備が難しくなる。全体的な土地利用計画や優先順位を整理の上、取得可能な土地から計画的に進めたい。

問 やまなみ莊太陽光発電に不具合が生じているが。

住 設置後15年が過ぎてことから原因究明に時間がかかった。

問 発電設備から電気が供給されなかつた期間はどのくらいか。

住 約5か月になる。

問 壊れた原因が直ぐにわからなかつた理由は何か。

太陽光発電は通常に発電されていたが、高圧受電設備（キュービク

ル）のところで自動的に遮断され、通常は自動で復旧するものができていなかつたため。

問 使用電気の中で太陽光発電が占める割合はどのくらいか。

住 20数パーセントで推移。

問 現在の発電設備は15年が過ぎてしる。環境省の脱炭素事業で新規に設置更新できないか。

村 国の補助金が財源で、設置後17年間は更新できない。設備状況や補助金の返還額が抑えられる残存年数を総合的に判断して検討する。

問 現在の蓄電池は規模が小さい。環境省の脱炭素事業で新規に蓄電池を更新することはできないか。

村 現在夜間の電力使用量が多いため、脱炭素事業のPPA事業で整備する計画。避難所施設であり、災害対策の面でもマイクログリッド事業に接続を予定。

問 過去に設置した太陽光パネルの今後の修理やメンテナンスなどの対応はどうに考へているか。

村 修理等が出来るよう会社と調整を行つていただきたい。

自治功労者表彰受賞

この度、平田勝章議員が長年にわたり議員活動を続けてこられたと

いうことで、長野県村議会議長から

栄誉ある自治功労者表彰を受賞されました。平田議員は、18年以上の議員活動を続けられた功績に対し受賞されました。

また、おじやまほ楽部、こなもん俱

楽部などの地域活動団体にも所属し

村の活性化にも携わっております。

これからも培われた経験を活かし

て様々な課題について、ご指導を

願いします。結びに健康には十分に留意され、引き続き健勝にてご活躍をお祈り申し上げます。

議長 藤澤幸恵

この度、長野県町村議会議長より多年にわたり住民福祉向上などに貢献したとして特別表彰を受けました。感謝申し上げます。

今後も、村の発展のために微力ながら力を尽べしていただきたいと思ひます。

感謝申し上げます。

平田勝章



議会日誌

(主なものを掲載)

11月

- 4日 東筑摩郡村議会議長会長野県要望（長野市）
6日 松本広域連合議会定例会（松本市）
9日 商工感謝祭
11日 東筑摩郡村議会議長会国会議員要望（東京都）
12日 町村議会議長会議長全国大会（東京都）
16日 生坂村消防団中継送水
17日 議会全員協議会
21日 議会運営委員会
25日 穂高広域施設組合議会定例会（安曇野市）
松塙筑木曾老人福祉施設組合議会定例会（塩尻市）
26日～28日 定期監査
26日 ゼロカーボン推進プロジェクト会議
地域支え合い推進会議
28日 生坂農業未来創りプロジェクト会議
安曇野松筑広域環境施設組合議会定例会（安曇野市）
例月出納検査

12月

- 4日 お父さん頑張る会30周年記念式典及び祝賀会
5日 議会全員協議会
9日 12月定例会・開会
10日 本会議・一般質問
11日 総務建経常任委員会
12日 社会文教常任委員会
15日 県道上生坂信濃松川停車場線整備期成同盟会意見交換会（池田町）
16日 12月定例会・閉会 議会全員協議会

- 18日 第2回生坂村福祉センター運営委員会
24日 ゼロカーボン推進プロジェクト会議
JA松本ハイランド農協との行政懇談会
25日 議会だより編集委員会
定例監査報告会 例月出納検査

1月

- 3日 二十歳の集い
8日 議会だより編集委員会
9日 令和8年賀詞交歓会
11日 消防団出初式
13日 有害鳥獣駆除対策協議会
14日 議会だより編集委員会
15日 松本広域連合議会常任委員会視察研修（松本市塩尻市）
19日 議会全員協議会
20日 上下水道運営委員会
歯科診療所運営委員会
社会就労センター運営委員会
21日 国民健康保険運営協議会
介護保険運営協議会
町村議会運営研修会（松本市）
東筑摩郡村長会・議長会新年会（松本市）
22日 ゼロカーボン推進プロジェクト会議
有線テレビジョン番組審議会
村営バス運営協議会
26日 生坂農業未来創りプロジェクト会議・消防委員会
27日 東筑摩郡議会議員交流会
28日 第47回松本地域正副議長懇話会



タイムカプセルを開ける皆さん

金元 夢果さん

生坂村は自然が豊かで素晴らしい村だと改めて実感。たまに帰省する際は、いつも楽しみにしている。将来の目標はまだ定まっていないが、将々なことに挑戦していきたい。

高校時代、村から離れて生活していた。たまに帰る村の景色には本当に癒されたので、この環境を守りつつ村を発展していくつもりだ。議会についてはまだよくわからない。進学して県外生活になるが、身近な人が議員をしているので、関心を持つていきたい。

原田 創意さん



小林 綾さん

生坂村に帰るたびに、その自然の豊かさ、静けさ、澄んだ空気に触れ、「心が落ち着く場所だ」と強く感じる。

赤羽 弥音さん

故郷の存在が「頑張れ」と応援してくれる心の支えになっている。

平林 凜さん

生坂村はやっぱりここなんだな、安心するなと思う。

二十歳の集い

1月3日の二十歳の集いで、生坂村への思いなどを聞きました。

陳情・請願について

- 陳情・請願とは、国や県、村などに「[い]じ[し]て[ほ]し[じ]」、「[い]じ[し]」を変えて「[い]じ[し]」など求めるための制度です。
- 請願書提出にて、議会議員1名以上上の紹介が必要です。
- 請願は憲法16条に基づく国民の権利です。
- 陳情提出には紹介議員はつりません。1人でも提出でおもね。
- 提出した人
- 誰でわー。
- 個人でも団体でも、何れども、日本国籍がなくても提出できます。例えば…
- 松本市の高校生が野良猫対策の支援を求めて塙尻市議会に陳情を提出（令和7年12月15日信濃毎日新聞）



小学生5年生が、「[い]じ[し]基本法に基づく市の計画を策定し、その話し合の場に[す]じも[つ]れて[ほ]し」と子どもの意見を反映する仕組みを求めて神奈川県大和市議会に請願を提出（令和6年6月7日 朝日新聞）

提出から採択までの流れ

例 12月定例会に提出された診療報酬・介護報酬などの引き上げを求める陳情

締切日（通常、定例会開会日の前週の金曜日【今回は12月5日】）までに議会事務局に提出。

- 陳情提出には紹介議員はつりません。1人でも提出でおもね。
- 提出した人
- 誰でわー。
- 個人でも団体でも、何れども、日本国籍がなくても提出できます。例えば…
- 松本市の高校生が野良猫対策の支援を求めて塙尻市議会に陳情を提出（令和7年12月15日信濃毎日新聞）

議会だよりモニター再募集！

編集後記

議会だよりモニターを募集したところ、高校生を含む8名の方からお申込みいただきました。まだ空きがありますので、再募集します。

- モニターになられた方には、議会だよりを読んだ感想や意見を、議会に伝えていただきます。

- 募集人数 2人
- モニターの報酬はありません
- 応募期間 随時

- 募集対象 中学生以上の村民の方
- 応募方法
- ①メールで応募する
193kagikai@gmail.com
- ②議会事務局に電話で申し込む
お申込みください
③近くの議員にモニターになりたい旨をお伝えください

（太田 譲）

編集・発行責任者

編集委員

委員長 島 幸恵
委員 山本 吉人
太田 讓
望月 一将
進藤 彩

- 困って[ほ]じとなどがある場合、陳情・請願書を提出してみるのはいかがでしょうか。書面の書き方など、国会から、診療報酬等上げてくださいと、国に意見書を送付。
- モニター期間 令和8年3月定例会まで。再任は妨げません。
- いたいたたじ意見は議会だよりに反映するようにします。じ意見は許可をいただきて、掲載する」ともあります。じ協力をお願ひします。

藤澤 幸恵

NFT、DAO、仮想空間など、きちんと制度、ルールを作り、しっかりととした管理者がいることで安全に有効的に行うことも可能なのかなと思いました。

昔からある文化や資源を継承しながら新しい取り組みを住民主体でやってきた山古志の人々が素晴らしいと思ってました。

山本 吉人

中越地震といつ大災害時冷静にそして大胆な行動をとった村長、職員の方々本当に凄いと感じました。そんな気質があるのでしよう。可能性を試す勇気があります。NFT、DAOを取り入れたことは素晴らしいと感じました。人口800人の限界集落が挑戦しています。問題も沢山あるのですが、一歩を踏み出します勇気こそが未来を切り開くこと信じています。生坂村も頑張ります。

市川 善明

2004年に中越地震の襲来にあり壊滅的なダメージを受けつつ、翌年には合併により村は一変して地域人口はいきなり半減に。住民のコロニーの崩壊や若者入材の不足・少子化等をも招いた現実の背景。そんな下でのデジタル技術を使つた新しい関係人口づくりは、全国はおろか海外まで協力参加を得られた素晴らしい実例で敬服した。

新潟県長岡市旧山古志村視察

平田 勝章

運営はどうも同じで厳しい状況とのことで、事業内容も多彩で、一般的な内容以外に有料老人ホーム事業、らくらく筋トレ事業、カー予約センター事業などが取り入れられており、少人数の職員で多彩な事業を運営するのも大変だと思いました。

進藤 彩

飯豊町の社会福祉施策には、「単身高齢者等呼び出し装置貸与事業」をはじめ、建物内に筋トレジムやカフェを備え「生まれてきてよかつた」を「ソセイド」に掲げる有料老人ホーム「カメリア」などがあります。さらに「おじいちゃんおばあちゃんへの絵手紙コンテスト」など、住民一人ひとりの心に寄り添った取り組みが数多く展開されていると感じました。

太田 讓

住宅型有料老人ホーム「カメリア」。これから村社協において非常に参考になると感じた。老人ホームを求める声も村民から届いている。併せて中央から離れた高齢者独居の方などは安心して生活できるメリットも考えられ、今後のインフラ整備の経費も抑えられる可能性もある。なにより地域のことを優先的に考える強い姿勢と思しが伝わってきた。

—【議会先進地視察】—

山形県 飯豊町

新潟県長岡市 山古志

望月 一将

今回の議員視察では、私の提案により新潟県長岡市山古志地域と山形県飯豊町を訪れました。山古志では、NFTを活用した「デジタル村民制度」や山古志DAOの取組により、

地域外の人々が意思決定や活動に関わりながら地域を支える新しい仕組みづくりが進められています。一方、飯豊町については、当初は地域交通の取組を主な目的として視察しましたが、社会福祉協議会が設置する「経営健全会議」に強い関心を持ちました。職員自らが運営を見直し、組織の自立性を高める

姿勢は大きな学びでした。いずれの視察先にも共通していたのは、制度に頼るだけでなく、地域を思い行動する人の熱意です。生坂村の今後を考えるうえで、多くの示唆を得る視察となりました。

山形県飯豊町社会福祉協議会視察

